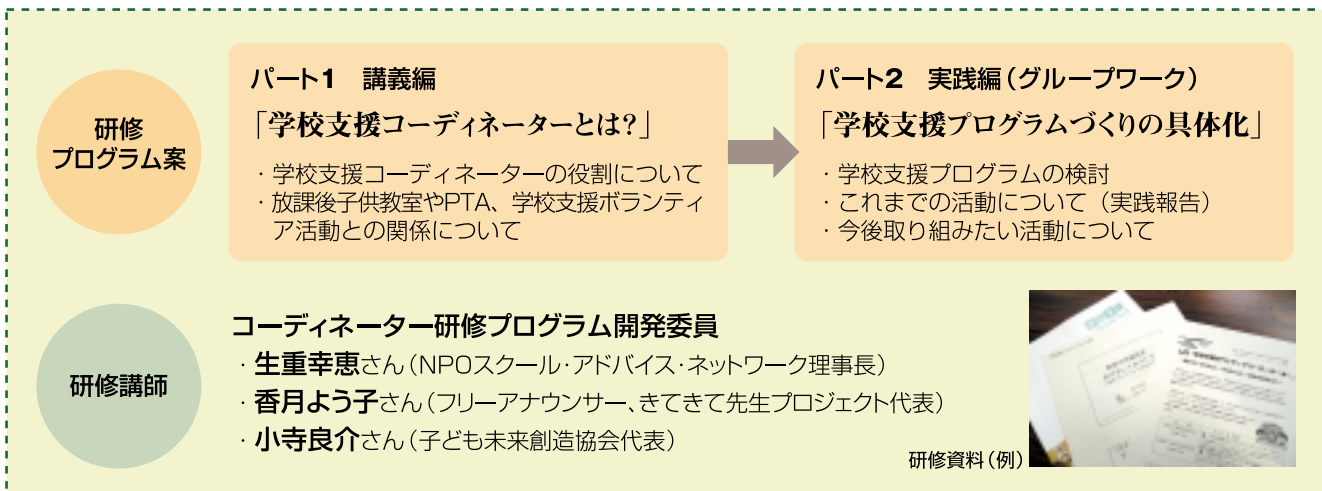


学校と地域をつなぐために ～学校支援コーディネーター研修

学校支援ボランティア推進協議会事業の実施においては、各地域の人材や社会資源を学校教育へつなげる機能が重要となります。その役割を担う学校支援コーディネーター（以下コーディネーター）には、学校のニーズを把握し、地域の特性に応じた活動を行うことが求められます。

東京都教育委員会では、コーディネーターの資質向上を図るための活動の一環として、昨年度から各地区に出向いてコーディネーターを養成する研修を実施しています。研修の組立ては、研修プログラム案（下図参照）を基本としていますが、詳細については、各地区の学校支援ボランティア推進協議会事業担当者へ事業の実施状況やコーディネーターの状況についてのヒアリングを行い、当該地区の実態に応じたプログラム内容を検討、作成しています。



今年度は研修を希望している江戸川区、小平市、町田市等、計8地区で研修を行う予定ですが、今回は8月に実施した3地区の研修について、紹介します。

1. 放課後子供教室の経験を生かした活動展開 (日野市:8月4日(火)、20日(木)実施)

日野市では、全ての小学校で学校支援ボランティア推進協議会事業を実施しています。研修参加者は、放課後子供教室の経験が豊富にあるコーディネーターの方たちでした。講義では、放課後子供教室と学校支援ボランティア推進協議会が連携している活動事例を中心に紹介しました。また、グループワークではこれまでの放課後子供教室活動の実績の上に、今後学校支援をどのように展開していくかを、参加者同士で考えました。

2. 1校から広がる学校支援の関心 (あきる野市:8月6日(木)実施)

あきる野市では、昨年度から小学校1校で学校支援ボランティア推進協議会事業が始まりました。研修には、当該小学校の関係者を始め、放課後子供教室関係者やPTA関係者、おやじの会関係者、自治会役員、青少年委員など様々な立場の方が参加しました。コーディネーターの役割や学校支援の基本について学び、あきる野市の地域特性を生かしたこれからの学校支援活動を考えました。



講義「地域の活力を学校支援に生かそう」

3. PTAのOBが中学校の応援団 (青梅市:8月21日(金)実施)

青梅市では第一中学校で学校支援ボランティア推進協議会事業が実施されており、当該中学校のコーディネーターのほか、現役PTA役員やOB、校長、副校長の参加を得て、研修が開催されました。前半の講義では、今後事業を実践していく際の参考となるよう、中学校での活動事例の紹介を中心に行いました。

また、後半のグループワークでは、当該中学校を舞台にした今後の具体的な活動内容について、関係者を中心に話し合いました。



グループワークの様子

参加者からは次のような感想が多く寄せられ、コーディネーターについての学習の機会としてだけでなく、同じ地区の他校のコーディネーター同士で情報交換をする場にもなっていました。

今後も地域の教育力向上の一の方策として、新たに学校支援ボランティア推進協議会事業に取り組み始める区市町村を対象に、コーディネーターのスキルアップのための研修を実施していきます。

【参加者の声】

- ・子供たちのために多くの方が、様々な活動をしていることがわかりました。いろいろな話がきけて良かったです。
- ・いろいろな方、地域、学校、保護者とのコミュニケーションを日頃よりとっていくのが大切と再確認しました。
- ・他校の話のを伺いましたが、このような機会があるといいと思います。
- ・お話を伺い、これからの活動が楽しみになりました。